

ほたるしょうだより

豊中市立螢池小学校 No.6

令和元年(2019年)11月5日

校長 中島 文恵

11月9日(土)

土曜参観(公開授業研究会)開催！

～全クラス授業を公開します。全体会では体育館で学校の取り組みや、新保真紀子先生の講演や、合唱も発表します！～

「土曜参観日(公開授業研究会)のご案内」(10月28日付け)でもお知らせいたしましたように、11月9日(土)に、下記の内容で、土曜参観日を、地域公開授業ならびに公開授業研究会と位置づけ、開催します。ほたるタイムも授業も全体会もぜひご覧ください。よろしくお願いいたします。

記

1. 時 程

8:40 8:55 9:05 9:10 9:55 10:10 12:20

うけつけ 受付	ほたる タイム (音読)	休 憩	こうかいじゅぎょう 公開授業 (物語文)	いどう 移動	ぜんたいかい 全体会(体育館) *1・2年生の合唱 *学校プレゼンテーション *講演会 *6年生の合唱 *全校生合唱
ぜん 全クラス	ぜん 全クラス		ぜん 全クラス		

2. ほたるタイム：「音読」の取り組み
 3. 公開授業：「物語文」の授業
 4. 全体会

◇学校プレゼンテーション 研究部(学力保障部・人権教育部)
 ◇講演会 講師 新保 真紀子先生(神戸親和女子大学客員教授)

◇講演テーマ 「力のある学校と学習集団づくり
 ～子どもたちにラブレターを書こう～」

◇表現活動(合唱)
 *1・2年生「てをつなごう」
 *6年生「旅立ちの時 ～Asian Dream Song～」
 *全校合唱「世界でひとつのハーモニー」

本校では学校教育目標を「ともに学び、活動し、やりぬく喜びを創造する～学びを力に～」とし、子どもたちには「考える力」「つながる力」「やりぬく力」の3つの力を育もうとさまざまな教育活動に取り組んでいます。その中でも授業が果たすべき役割は極めて大きいものがあります。私たちは、ほたるっ子みんなが社会で生きぬく力を高めるために、私たちの授業力を向上させ

必要があります。そのために今年度も国語科で「すべての子どもが生き生きと学ぶことのできる授業」をめざして取り組んでいます。自ら考え意見を聴き合える楽しい授業になるよう、どの子どもが学びに向き合えるための支援を授業に取り入れながら、さらに、主体的に学びに向き合うための手立ての一つとしてペア・グループ活動を活用し授業を行います。そして、授業後の全体会では、本校の日々の教育活動を紹介します。また、神戸親和女子大学から新保 真紀子先生をお招きし、「力のある学校と学習集団づくり～子どもたちにラブレターを書こう～」という演題でご講演をいただきます。そして、最後には、ほたるっ子全員の心のこもった大合唱も発表します。6年生の振り付け隊が考えた振り付けで頑張ります。どうぞ最後まで、ご参観いただきますよう、よろしくお願いいたします。

つながる国語

・・・国語が好きやねん！読めるし、わかるし、伝わるし・・・

今回の「ほたるしょうだより」では、土曜参観で学習する「物語文」の教材名と、保護者の皆さまに、是非、ご覧いただきたいポイントや子どもたちのがんばっている様子等をお知らせいたします。

1年「おとうとねずみ チロ」

今回の教材は、おばあちゃんからのチョッキを楽しみに待つおとうとねずみチロの行動や気持ちを中心に描かれています。時や場所の変化による場面の展開や、チロの行動をとらえるために動作化をしてチロによりそっています。小さな小さなおとうとねずみチロが全身の力と知恵をふりしぼり、おばあちゃんに気持ちを伝える一生懸命さを子どもたちといっしょに学びたいと考えています。

ほたるタイムでは、「かぞえうた」「ありがとう」を音読します。繰り返し練習することで、音読が上手になってきました。2学期から学習している漢字の読み方に気をつけてリズムよく読んだり、楽しい気持ちや優しい気持ちをこめて読んだりしていきたいと思っています。



2年「名前を見てちょうだい」

1学期から「お手紙」や「風のゆうびんやさん」で、物語全体の出来事を捉え、登場人物の気持ちを考えながら学習してきました。

今回の教材「名前を見てちょうだい」は、お母さんにもらった帽子を中心に展開する物語文です。主人公のえっちゃんがいろいろな動物と出会いながら、最後は大男に対峙する場面へとつながっていく物語になっています。自分で新しく登場人物をつくり、一つの場面を書きました。当日は、書いた文章をグループで交流します。

図工では「だんだんダンボール」の作品を作りました。1組・2組合同で生活教室を自分達の思うままに装飾し、子どもたちの個性あふれる作品がいっぱい見られる生活教室に変化しました。当日、生活教室を開放していますので、ぜひご覧ください。

1・2年生の合唱では、「てをつなごう」を歌います。1年生の見本になるよう一生懸命練習をしていました。その練習の成果、ぜひご覧ください。



3年「はいねずみと金貨」

3年生は「ゆうすげ村の小さな旅館」や「サーカスのライオン」で登場人物の場面ごとの気もちの変化を考えながら学習してきました。今回の教材「はいねずみと金貨」は、年老いたはいねずみが、森で拾った金貨を使って、冬支度をしようとする中で、森の動物たちとふれあうお話です。当日の授業では様々な動物たちに出会う中で最後に子ぐまに出会う場面を読み取ります。しっかり考えることで自分の意見を持ち、グループ活動では友だちとの交流の中で考えを深める機会になればと思っています。

ほたるタイムでは、「たべもの」という詩を音読します。さまざまな読み方を楽しみながら読む姿を見てあげてください。自分なりに工夫して読むということを特に大切にして指導しています。廊下に掲示している図工の作品は、3年生から使い始めたリコーダーを吹いている姿を自画像にしました。子どもたちが描いた、個性あふれる絵をぜひご覧ください。

4年「ごんぎつね」

授業では、「ごんぎつね」を行います。この物語は、ひとりぼっちの小ぎつねのごんが、同じくひとりぼっちになってしまった兵十と心を通わせようと努力していく物語です。授業では、場面を比べながら、ごんの変化を読み取っていきます。自分の考えを3人組で交流したり、全体に発表したりするなかで自分の考えと仲間の考えの同じところや違うところ比べることで深めてほしいです。

教室の前には、「真っ暗な海の中」を掲示しています。たくさんのクラゲがふわふわ泳いでいます。ぜひご鑑賞ください。



5年「注文の多い料理店」

授業前のほたるタイムでは、「馬」や「星めぐりの歌」を音読します。楽しそうに音読する姿をぜひご覧ください。

授業では、「注文の多い料理店」の勉強を行います。山猫たちの作戦が成功したのかを考えたと後、なぜ紳士たちの顔をくしゃくしゃにしたのかを交流し、この物語の中で伝えたかったことは何かを読みとっていきます。

今年の全校合唱は、いよいよひな段に立って歌うことになりました。人数の少なさを感じさせない、力強くきれいな歌声で6年生といっしょにみんなを引っ張って歌おうとはりきっています。

また、図工では、一人ひとりが工夫してデザインした「シーサー」を作り、教室前に飾っています。個性豊かな表情に注目してください。



6年「海のいのち」

しょうがくこうせい 小学校生活最後の公開授業研究会では、6ねんせい 6年生の活躍の場がたくさんあります。ぜんがうがっしょう 全校合唱の「せかい 世界で一つのハーモニー」の振り付けは6年生が考えたもので、振り付け朝会で全学年におぼえてもらいました。はじめて 初めての全校合唱 とく とく組む1年生には、ねんせい ペアの6年生が隣 おし について教えてあげました。うた 歌うときは、ひな壇の一番上から二部合唱で声を響かせ、他の学年のみんなを支えられるようにがんばります。

こうかいじゅぎょう 公開授業では国語の物語文『海のいのち』に取り組めます。ちゅうしんじんぶつ 中心人物の太一が、うみ 海と共 い に生きる父や与吉じいさ、母など周りの人物との関わりや生き方を通して成長していく物語です。

さまざま 様々な学習の中でグループ活動に取り組んでおり、グループの中で役割を決めて意見をまとめたり、ともだち 友だちの考えから自分の考えを深められるように話し合い活動を取り入れた授業も行なっています。とうじつ 当日は、なぜこれまで打ちたかったクエ(瀬の主)をうたなかったのかという ちゅうしんじんぶつ 中心人物が変容した理由について深く考えたいと思っています。

